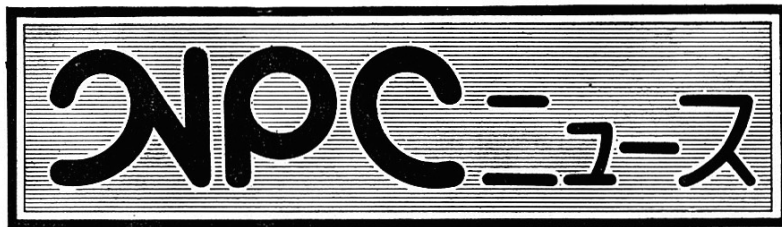




『幸福は他人をもつむものでありたい』

幸福は人生の目標である。何を幸福と考えるかは人それぞれだが、自分の幸福な状態が、他人の目にも楽しく、心も楽しませるものでありたい。



＝ 戸畑共火 4 号機 ＝

3月1日 営業運転を開始 LNGなどガス燃料使用

〔戸畑共火＝3月1日〕北九州市戸畑区大字中原に建設が進められていた戸畑共同火力株式会社戸畑共同発電所 4 号機が完成し、3月1日営業運転を開始した。

当社は、戸畑共火 4 号機工事に関してボイラ（蒸発量毎時1,180トン）およびタービン・発電機（出力37万5,000KW）の据付を三菱重工業株式会社社長崎造船所、電気設備を三菱

電機株式会社九州営業所からそれぞれ受注し、51年6月戸畑共火建設所を設置して工事に当った。

工事は51年11月15日ドラム揚げを終了、その後、徳光所長指揮のもと山口、坂口、石井各所長代理以下技術陣が一丸となって取組み、52年7月27日タービン中間検査、8月8日プラント水圧、9月30日火入れ、11月15日通気と順調に工程を消化して、昨年末以来試運転作業を続けていた。

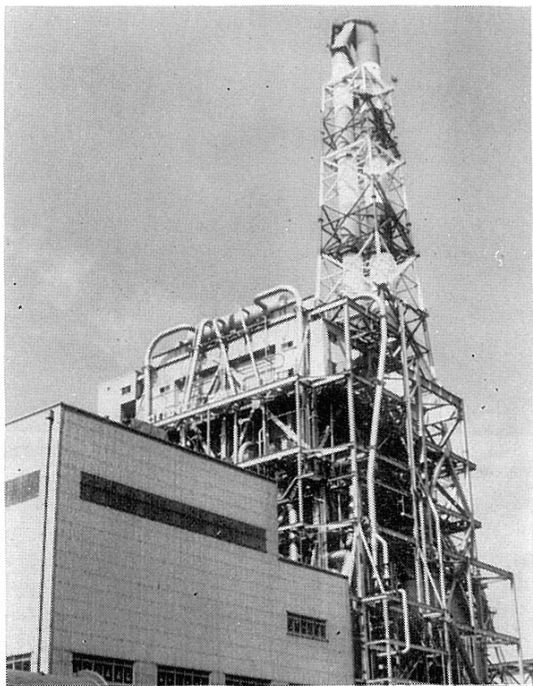
戸畑共火 4 号機は新日本製鉄株式会社戸畑製鉄所構内にあり、燃料には、隣りの北九州エル・エヌ・ジー株式会社戸畑基地から送られる液化天然ガスのほか、高炉ガス、コークスガスなど製鉄の過程で発生するガスを利用するシステムになっている。

戸畑事業所を設置

当社は、3月1日付で戸畑作業所を廃止し、新たに戸畑事業所（安部進所長）を設置した。

これは、戸畑共火 4 号機の運開によって、戸畑共同発電所内での日常整備工事量が増加するため、これに対処し、工事体制の強化をはかったものである。

また、戸畑事業所設置により、従来小倉事業所の所属であった北九州エル・エヌ・ジー作業所は、戸畑事業所に所属が変更された。



営業運転を開始した戸畑共火 4 号機



石崎社長から激励を受ける

イラク派遣第一陣出発

ハルサ発電所工事に着手

〔本店＝1月31日〕当社はイラク共和国ハルサ発電所 1、3 号タービン・発電機の据付工事を行うが、同工事に従事するイラク派遣の第一陣 8 名が、1月31日福岡空港を出発し空路ハルサ現地に向かった。

一行は原田正己所長、薄義勝所長代理、中原顕美主任、古賀正明さん、それに協力会社大機工業の社員 4 名の計 8 名で、家族や、石崎社長をはじめ当社役員・社員、大機工業関係者など多数の見送りを受けて元気に出発した。

ハルサ発電所工事は、三菱重工業株式会社社長崎造船所から受注したもので、4 基建設される発電設備のうち、1 号機と 3 号機（出力各 20 万 KW）のタービン・発電機および付属設備の据付工事であ

る。工期は、1 号機が 54 年 4 月末、3 号機が同じく 54 年 10 月末までの予定。

出発に先立って前日の 30 日には壮行会が行われたが、席上、石崎社長の激励の言葉に応じて原田所長は「イラクハルサの工事は、NPC の技術が国際レベルで評価を受けるわけであり、派遣員一同の責務は重大です。この事をキモに銘じ、誠実施工で立派に工事を完遂させるとともに、無事故無災害で全員元気に帰国できるよう頑張ってください」とあいさつ。工事施工に当たっての覚悟のほどを披露した。

当社では 31 日出発した第一陣 8 名を皮切りに、工事進行に従って逐次技術者を派遣して行く。

（2面にイラクだより掲載）

無災害記録表彰

新小倉(建)など 4 事業場を表彰

1月30日開かれた幹部合同会議の席上で安全表彰が行われ、新小倉建設所など 4 事業場が表彰された。

これは当社の「安全表彰要項」にもとづくもので、第 1 種無災害記録(80 万時間以上)を達成した新小倉建設



表彰を受ける各所長

所（速水武康所長）、大牟田事業所（太田資信所長）、第 2 種無災害記録（40 万時間以上）達成の唐津事業所（小幡勇所長）、川内事業所（矢野進所長）の 4 事業場に対し、石崎社長から賞状と副賞が贈られた。

＜中国電力下松第 3 期＞

ボイラヘッダー揚がる

過去の経験生かし万全の体制で

〔下松＝2月23日〕当社は、山口県下松市末武の中国電力株式会社下松発電所第 3 期（出力 70 万 KW）のボイラ据付工事を行っているが、工事は順調に進み、2月23日にはヘッダー揚げを行った。

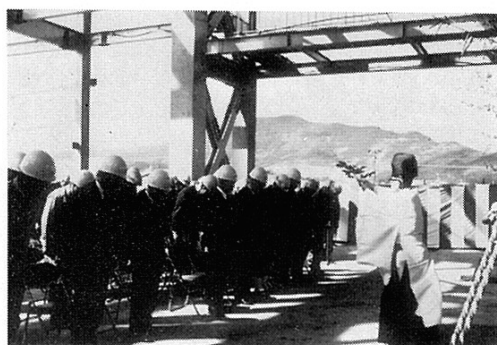
同工事は、石川島プラント建設株式会社より受注したもので、蒸発量毎時 2,350 トンの放射再熱式超臨界圧貫流ボイラの据付けである。当社ではこれに対処して昨年 12 月 1 日下

松建設所を設置し、葉山所長指揮のもと、松尾、本間、増田各主任をはじめとする技術陣、それに事務担当の飯尾所長代理らが、協力業者一木工業、大機工業、多田組などの応援を得て、鋭意取り組んでいる。

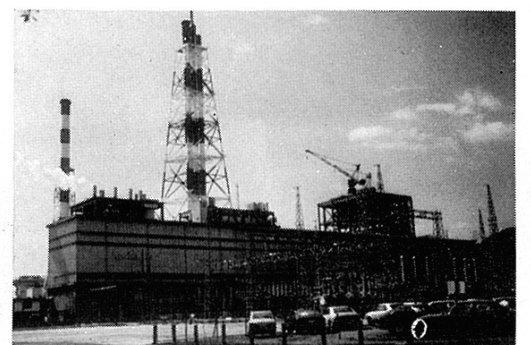
2月23日行われたヘッダー揚げ安全祈願祭には、中国電力の丸山副社長、和泉火力部長をはじめ多数が出席され、当社からも石崎社長、神宮司常務、葉山所長などが列席した。

当社は、過去 46 年から 47 年にかけて同じ下松発電所の 2 号機のボイラ据付工事を行っており、今回の工事も、その経験を生かして万全の体制で臨む覚悟である。

今後の工事予定としては、水圧検査が 8 月 15 日、点火が 54 年 2 月 15 日、営業運転開始が 54 年 7 月 15 日となっている。



ヘッダー揚げ安全祈願祭（2月23日）



下松発電所（左から 1 号機、2 号機、3 号機）

	事業所名	達成期間
第 1 種無災害記録賞	新小倉建設所	51.12.27 ~ 52.12.15
	大牟田事業所	49.10.11 ~ 52.12.15
第 2 種無災害記録賞	唐津事業所	51.2.3 ~ 52.11.15
	川内事業所	49.7.3 ~ 52.12.25